

豊かな自然、歴史ある寺社や街並み、国際空港など、多様な景色・眺め(景観)が楽しめる成田市。市では「成田らしさを感じられ、良好な景観を望める場所」を市民共有の宝物として保全・活用しようと、「なりた景観資産」として登録しています。ここでは、市民の皆さんから推薦され登録された、景観資産の数々を紹介します。



満開のラベンダー畑と正堂

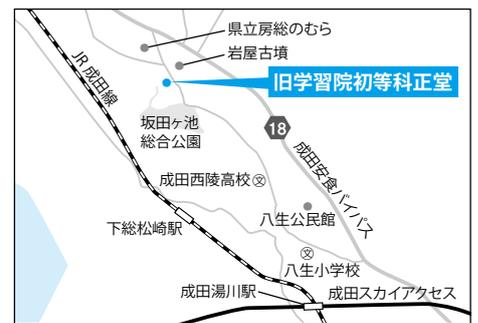


歴史を感じさせる正堂内

「旧学習院初等科正堂と森林の景観」

旧学習院初等科正堂は、明治32年に当時の東京市四谷区尾張町に建造されました。昭和12年に正堂を新築するのに伴い、印旛郡遠山村の遠山尋常高等小学校(現在の遠山中学校)へ講堂として移築されました。昭和48年に国の重要文化財に指定、昭和50年に現在の場所へ移築され、県立房総のむらの一部として公開されています。

西洋建築のデザインを取り入れながらも、日本の伝統的木造建築の技術を用いて造られた旧正堂。堅実で落ち着いた雰囲気建物とそれを取り囲む緑豊かな森林は、自然と歴史を感じさせる景観として、多くの人に親しまれています。



所在地 大竹1451番地
JR成田駅西口より千葉交通バス「竜角寺台二丁目」下車徒歩10分。月曜日は休館。

市では、なりた景観資産にふさわしい場所を募集しています。誰もが安全に立ち入ることができ、素晴らしい景観を望める場所がありましたら、ぜひ推薦してください。くわしくは公園緑地課(☎20-1562)へ。

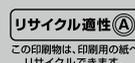
編集後記

2ページで紹介した旧名木小学校の跡地の活用。3年前の閉校当時、私は仕事で閉校作業に立ち会っていました。校内の清掃や荷物の運び出しなど、やることはたくさん。そんな中でも先生たちが丁寧に廊下を磨き上げていたのが印象に残っています。その建物が生かされ、福祉施設に生まれ変わりました。以前のように、たくさんの人の笑い声が響くような、利用者からも地域からも愛される場所になってほしいと願っています。

平成29年6月15日号 No.1341

成田市のホームページ

<http://www.city.narita.chiba.jp>



広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。